



板井原集落での花籠祭り

訪問日平成 27 年 10 月 10 日（土）



ついに花籠祭り当日を迎えました。
今回、花籠を担ぐ方は、板井原集落
の手助けを行ってきた地域おこし協
力隊の励波修平さんです。

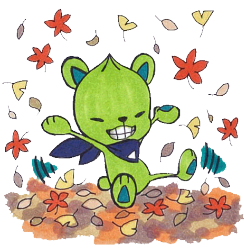
祭りでは集落内を練り歩きます。
その後で、花籠を奉納す
るために神社へと向かいます。



神社に到着すると花籠に挿し
ていた竹ヒゴを丸くして、家に持
ち帰り、屋根の上に載せます。こ
れには、厄除け、安全に毎日の
生活を送れますように、という意
味があります。

集落の人々と共に花籠祭りの終わりを
迎えます。今年も無事に恵まれた天
候で花籠祭りを開催できました。来年
も恵まれた天候の下で祭りが行えると
いいですね。





板井原集落での花籠祭り

訪問日平成 27 年 10 月 10 日（土）



ボランティア委員会のメンバーの感想コーナー

僕は、初めて花籠祭りに参加しました。お祭りとは、多くの人が集まって盛り上がっていると思っていたのですが、板井原集落の花籠祭りでは、集落の人が少ないためすごく盛り上がっている感じがしませんでした。また、男性中心でやるお祭りだったのがびっくりしました。でも集落の人が、皆で一生懸命取り組まれているのでよかったです（Y・K）

10月3日に板井原集落で花籠祭りの準備をしました。花籠の花を作る時、両方の長さをそろえるのが難しかったし、紙の色を違う色にするのも大変でした。本番当日、僕の役目は、花籠を担ぐ人の後ろについて花籠の花を支えることです。板井原の祭りをするのは初めてで緊張しましたが、村の中をまわって、最後には、神社にお参りをして終わりました。板井原の祭りで一番大変だったことは、花籠を担ぐ人だと思います。なぜなら、足が素足だったので村の中を歩くことが大変だったからです。（T・R）

板井原集落のお祭り（花籠祭り）は初めて見るお祭りで、すごく興味が湧きました。人数が少なく、あまりお祭りみたいに見えなくて、少し淋しそうな気もしましたが、今回も良い体験ができたと思います。（M・T）

私は、花籠祭りに参加するのは今年で 3 回目になります。準備をするのも、慣れが必要ですが、慣れていったら次々と竹ヒゴを作ることができました。

本番は、花籠を担ぐ人のサポート係でしたが、晴天の下で何事もなく祭りを終えることができました。高校生活で祭りに参加することができるのが今年で最後ですが、何度も板井原集落に訪れたいな、と思いました。（M・N）